エコアクション21
環境経営レポート

2022　年度

レポート対象期間
（2022年5月 1 日　～　2023年 4 月 30 日）

エコアクション21認証・登録範囲　産業廃棄物収集運搬業・中間処分業・建設業

株式会社　リサーク

発行日　2023 年　6月　30日

1．環境活動レポート 目次

項 目 及 び 内 容	ページ
表 紙 (認証・登録範囲、レポート対象期間及び発行日)	
1．環境活動レポート 目次	1
2．組織の概要	
① 事業の概要	2
② 廃棄物処理業に関する情報公開項目	3-6
③ 実施体制	7
3．代表者による経営における課題とチャンスの明確化	8
4．環境方針	9
① フロン回収業務への取り組み	10
② SDGsへの取り組み	11
5．環境目標	
① 中期目標	12-13
② 短期目標	14-15
6．環境活動計画	
① 主要な活動計画	16
② 2022年度環境活動計画表	17
7．環境目標(短期)の実績評価	
① 実績・評価　産廃事業部・総務課	18-19
② 実績・評価　工事事業部	20
8．環境活動計画の取組結果とその評価、次年度取組内容	
① 2022年度環境活動計画実施状況確認表	21
② 問題点の是正及び予防処置の結果	22
③ 2023年度環境活動計画表	23
9．環境関連法規等の遵守状況の確認・評価及び違反・訴訟の有無	24-25
10．代表者による全体評価と見直しの結果	26
11．地域貢献奉仕活動の記録	27
12．グリーン購入推進	28

2. 組 織 の 概 要

2-① 事業の概要

【1】会社名　　株式会社 リサーク

【2】代表者　　代表取締役社長　齊藤 大助

【3】所在地　　事務所　　静岡県富士市大野28-1
中間処分場　　静岡県富士市大野28-1、29

【4】資本金　　1,000万円

【5】設立年月日　　平成18年5月31日

【6】環境管理の責任者及び担当者氏名、連絡先

環境管理責任者　取締役統括部長　鈴木 伯幸
環境管理担当者　営業部　櫻井 竜弥

TEL　：0545-32-0111

FAX　：0545-32-1498

E-MAIL：ns-rcc@vc.tnc.ne.jp

ホームページ：http://www.recirc.net/

【7】事業内容　　【産業廃棄物の収集運搬及び中間処分業】
許可番号等については2-②「廃棄物処理業に関する情報公開項目」参照

【建設業】
許可番号：静岡県知事許可(般－5)第38166号
許可の有効期間：令和5年4月25日から令和10年4月24日まで
建設業の種類 ： とび･土工、解体工事業
【古物商】
交付番号：第49110A000358号

【8】事業の規模

項目	単位	2020年度	2021年度	2022年度
従業員	人	24	28	26
敷地面積	㎡	3062.14	3062.14	3062.14

各事業年度 期首5月1日 期末4月30日

【9】活動規模

項目	単位	2020年度	2021年度	2022年度
収集運搬量	t	7,101.56	7,432.15	7,709.25
中間処分量	t	9,576.83	10,405.06	10,760.36
工事等件数	件	850	1,076	1,779
売上高(全体)	百万円	613.5	640.6	692.3
売上高(工事等)	百万円	298.6	298.0	341.4

各事業年度 期首5月1日 期末4月30日

【10】処理料金　　廃棄物の性状、運搬方法により料金が異なりますのでご相談ください。
見積もり無料でご提出させていただきます。

2-② 廃棄物処理業に関する情報公開項目

【1】産業廃棄物収集運搬・処分取得許可

取得地域	許可番号	許可取得	許可期限	許可品目
静岡県産業廃棄物収集運搬業 優良	第02202129734号	平成18年12月7日	令和3年7月18日～令和10年7月17日	燃え殻、汚泥（※2）、廃油、廃プラスチック類(※１※２)、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず(※２)、ｶﾞﾗｽくず･ｺﾝｸﾘｰﾄくず･陶磁器くず(※１※2)、がれき類(※１)、ばいじん、動植物性残さ ※１：石綿含有廃棄物を含む。 ※２：水銀使用製品産業廃棄物を含む。
埼玉県産業廃棄物収集運搬業 優良	第01102129734号	平成19年12月20日	令和4年12月27日～令和11年12月19日	汚泥、廃油、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、金属くず、ｶﾞﾗｽくず･ｺﾝｸﾘｰﾄくず及び陶磁器くず、がれき類
神奈川県産業廃棄物収集運搬業	第01400129734号	平成26年2月18日	令和元年5月7日～令和6年2月17日	燃え殻、汚泥（※1※2）、廃油、廃プラスチック類(※１※２)、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず(※２)、ｶﾞﾗｽくず･ｺﾝｸﾘｰﾄくず･陶磁器くず(※１※2)、がれき類(※１)、ばいじん ※１：石綿含有廃棄物を含む。 ※２：水銀使用製品産業廃棄物を含む。
山梨県産業廃棄物収集運搬業	第01900129734号	平成31年2月25日	平成31年2月25日～令和6年2月24日	廃油、廃プラスチック類（※1※2）、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず（※2）、ｶﾞﾗｽくず･ｺﾝｸﾘｰﾄくず(がれき類を除く。)（※1※2）　及び陶磁器くず、　がれき類（※1） ※１：石綿含有廃棄物を含む。 ※２：水銀使用製品産業廃棄物を含む。

取得地域	許可番号	許可取得	許可期限	許可品目
静岡県産業廃棄物処分業（中間処分） 優良	第02221129734	平成18年12月7日	令和3年7月18日～令和10年7月17日	廃プラスチック類（※1）、金属くず（※1）、ｶﾞﾗｽくず･ｺﾝｸﾘｰﾄくず及び陶磁器くず（※1）、がれき類、紙くず、木くず、繊維くず　※1：水銀使用製品産業廃棄物(廃蛍光管)

【2】施設等の状況

収集運搬車両および構内作業車両等　（積み替え保管施設無し）

車両及び重機種類	最大積載量等	台数	備考
脱着装置付ｺﾝﾃﾅ専用車	15,000kg以下	2	収集運搬許可車両
	4,000kg以下	3	収集運搬許可車両
キャブオーバー	3,000kg以下	3	収集運搬許可車両
	4,000kg以下	2	収集運搬許可車両
ダンプ	2,000kg以下	2	収集運搬許可車両
軽自動車	—	2	［産廃部門］使用営業車両
軽自動車	—	2	［工事部門］使用営業車両
軽バン	300kg	2	［工事部門］使用営業車両
軽トラ	350kg	1	［工事部門］使用営業車両
バン	1,000kg	1	［工事部門］使用営業車両
フォークリフト	2.5t	1	構内作業車両
ホイルローダ	1.3㎥	1	構内作業車両
車両系建設機械	0.45㎥	2	構内作業及び工事車両
	0.7㎥	1	構内作業車両

処 理 施 設

2023年4月30日現在

施設の種類・方式	産業廃棄物の種類	処理能力
破砕施設① シングルトルグ クラッシャ	ｶﾞﾗｽくず・ｺﾝｸﾘｰﾄくず及び陶磁器くず	197.44 t/日(8.0時間)
	がれき類	276.80 t/日(8.0時間)
破砕施設② 二軸せん断式	廃プラスチック類	4.69 t/日(8.0時間)
	金属くず	4.88 t/日(8.0時間)
	ｶﾞﾗｽくず・ｺﾝｸﾘｰﾄくず及び陶磁器くず	4.75 t/日(8.0時間)
	紙くず	3.63 t/日(8.0時間)
	木くず	4.28 t/日(8.0時間)
	繊維くず	1.66 t/日(8.0時間)
破砕施設③ 二軸せん断式	ｶﾞﾗｽくず・ｺﾝｸﾘｰﾄくず及び陶磁器くず	8.76 t/日(8.0時間)
	紙くず(廃石膏ボード)	0.68 t/日(8.0時間)
破砕施設④ 水銀捕集バグフィルター装備	廃プラスチック類 (廃蛍光管に限る)	0.03 t/日(8.0時間)
	金属くず (廃蛍光管に限る)	0.06 t/日(8.0時間)
	ｶﾞﾗｽくず・ｺﾝｸﾘｰﾄくず及び陶磁器くず (廃蛍光管に限る)	1.81 t/日(8.0時間)
圧縮梱包施設	廃プラスチック類	14.48 t/日(8.0時間)
	紙くず	16.59 t/日(8.0時間)

【3】処 理 実 績

2022年度収集運搬実績

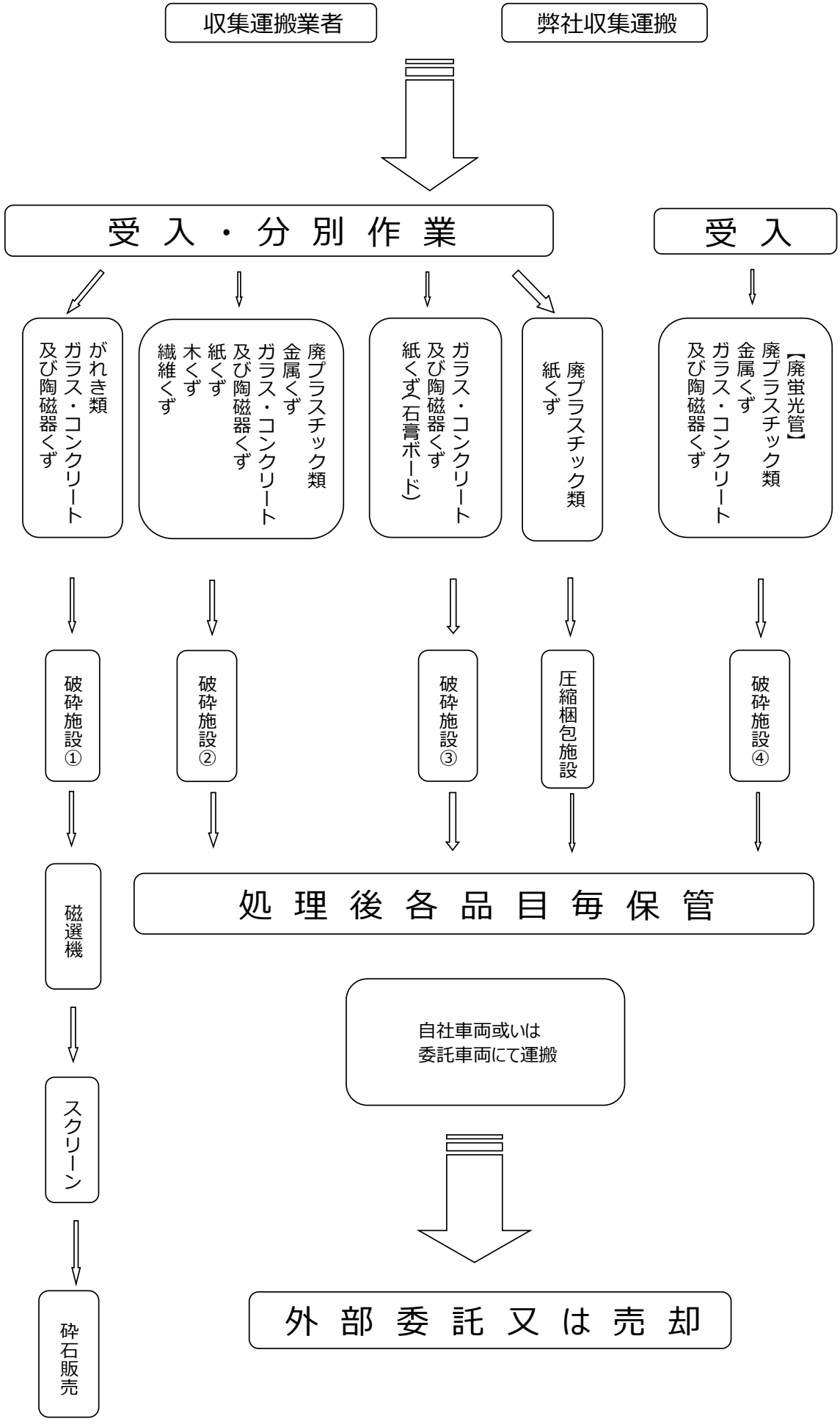
産業廃棄物の種類	収集運搬実績 (t)	
廃プラスチック類	1,487.49	
紙くず	186.82	
木くず	869.36	
繊維くず	6.21	
金属くず	144.32	
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	1,340.89	
がれき類	2,368.09	
石膏ボード	463.27	
水銀使用製品産業廃棄物 (廃プラスチック類)	0.05	
水銀使用製品産業廃棄物 (金属くず)	1.04	
水銀使用製品産業廃棄物 (ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず)	2.18	
燃え殻	1.71	
汚泥	727.13	
廃油	0.06	
石綿含有産業廃棄物 (廃プラスチック類)	1.13	
石綿含有産業廃棄物 (ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず)	7.35	〈左記色付き部分のみの集計〉
石綿含有産業廃棄物 (がれき類)	102.15	839.526
合 計	7,709.247	

※色付き分は運搬業務のみの品目、⑦-1実績評価内【2】受託産業廃棄物量に含む

2022年度処理実績

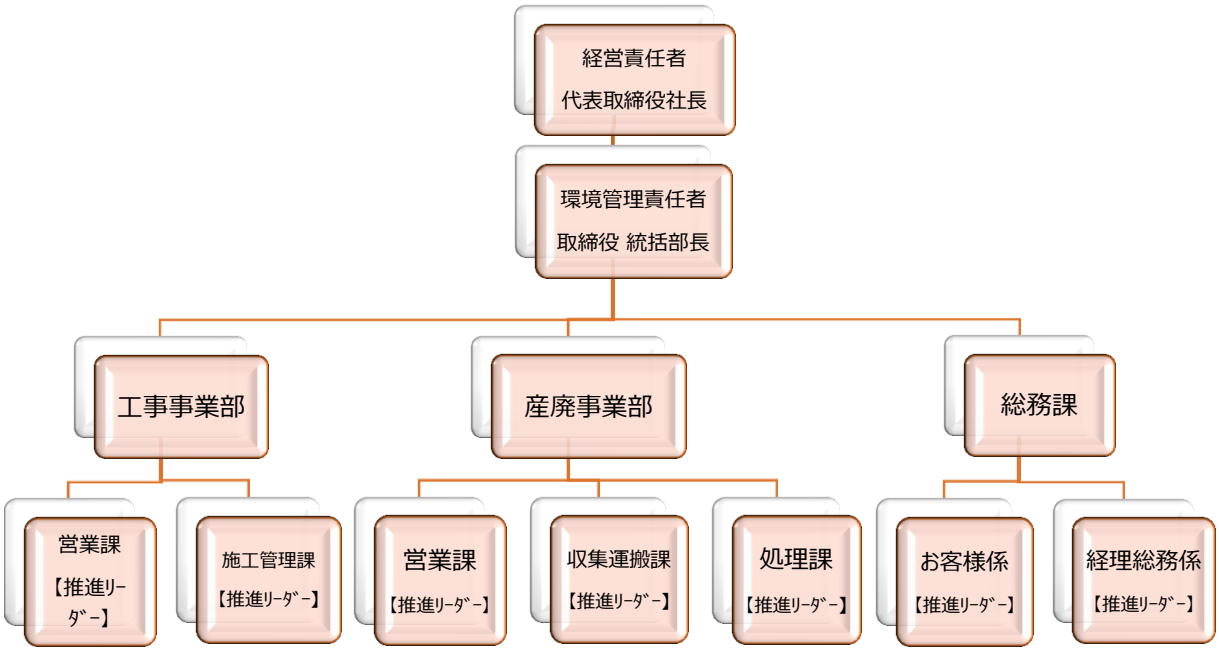
産業廃棄物の種類	処分方法	処理実績 (t)
廃プラスチック類	破砕・圧縮梱包	1,948.24
紙くず	破砕・圧縮梱包	208.39
木くず	破砕	1,053.72
繊維くず	破砕	42.54
金属くず	破砕	212.11
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	破砕	2,624.76
がれき類	破砕	4,057.05
石膏ボード	破砕	610.19
水銀使用製品産業廃棄物 (廃プラスチック類)	破砕	0.280
水銀使用製品産業廃棄物 (金属くず)	破砕	1.084
水銀使用製品産業廃棄物 (ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず)	破砕	1.996
	合 計	10,760.36

【4】処 理 工 程 図


収集運搬業者
弊社収集運搬
受 入 ・ 分 別 作 業
受 入
がれき類
ガラス・コンクリート
及び陶磁器くず
廃プラスチック類
金属くず
ガラス・コンクリート
及び陶磁器くず
紙くず
木くず
繊維くず
ガラス・コンクリート
及び陶磁器くず
紙くず(石膏ボード)
廃プラスチック類
紙くず
【廃蛍光管】
廃プラスチック類
金属くず
ガラス・コンクリート
及び陶磁器くず
破砕施設①
破砕施設②
破砕施設③
圧縮梱包施設
破砕施設④
磁選機
処 理 後 各 品 目 毎 保 管
スクリーン
自社車両或いは
委託車両にて運搬
砕石販売
外 部 委 託 又 は 売 却

2-③ 実施体制

制定 平成21年10月1日
改定 令和 4年4月1日



《環境管理組織における機能》

経営責任者
① 環境経営全般に対しての責任と権限
② 環境方針の作成と社員への周知
③ 全体の評価と見直し指示
④ 実施体制の構築
⑤ 代表者による経営における課題とチャンスの明確化

環境管理責任者
① 環境経営活動の推進
② 環境目標及び環境計画の作成
③ 環境経営推進会議の実施
④ 経営者への進捗報告

工事事業部・産廃事業部・総務課
① 環境計画の実施
② 月別部門データの集計
③ 問題点の把握と是正の実施
④ 推進会議の出席
⑤ 従業員教育

3．代表者による経営における課題とチャンスの明確化

作成日： 2022 年 4 月 5 日

課題とチャンスの整理（ＳＷＯＴ分析）

内部	Strengths（強み）	Weakenesses（弱み）
	・優良産廃業者許可の認定保持 ・工事事業部～産廃事業部への仕事一本化	・経験のある人材の確保 ・コロナ禍による新規顧客開拓 ・設備規模で競合他社に負ける設備がある ・処理困難物に対する対応不足
外部	Opportunities（機会）	Threat（脅威）
	・アスベスト対策（2022年４月追加施行）対応による調査依頼の増加 ・アスベスト対策（2022年４月追加施行）対応による新規工法への挑戦 ・盛土条例（2022年7月追加施工）対応	・社員の技能不足による他社との競争力低下 ・処分場の減少による処分費の高騰 ・盛土対策法令強化による再生砕石の需要減

⇩

環境経営方針	・SDGs（持続可能な開発目的）への取り組みの本格化 ・アスベスト対策法令の的確な情報収集と対応する社員のスキルアップ
環境経営目標	・SDGs（持続可能な開発目的）への取り組みの周知、仕組みづくり ・アスベスト対策法令に対応する環境づくり ・盛土条例施工後の適正化

⇩

今後の予定	・アスベスト調査拡大・アスベスト除去作業の模索・フロンとセットで営業強化 ・今期中に工事事業部全社員がアスベスト対策に対応する資格を取得 ・SDGs宣言を、取引業者等へ周知、社員教育 ・環境教育の一環として「ECO検定」社員の取得

4. 環 境 経 営 方 針

制定　平成 21 年 10 月 1 日
改定　令和 2 年 7 月 24 日
改定　令和 4 年 4 月 1 日

株式会社リサーク　環境経営方針

[環境経営理念]

株式会社リサークは、産業廃棄物処理業および工事業を経営するにあたり、地球温暖化問題、資源の枯渇問題の解決に取り組むことが重要課題であることを踏まえ、自主的かつ積極的に、社員一丸となって環境に配慮した経営への取組みを推進します。

[基本方針]

当社は、環境理念に基づいた環境経営システムを構築し、環境負荷を軽減すると共に、環境に配慮した継続的な活動を展開いたします。

1. 環境負荷低減活動の取組みを行い、二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、総排水量の削減に努めます。
   1) 電気、化石燃料、廃棄物、水の使用削減に取組みます。
   2) グリーン購入を実施します。

2. 環境関連法規制等を遵守いたします。

3. 環境に配慮した製品製造・サービス提供に取り組みます。
   1) 環境に配慮し、細かい選別により廃棄物のリサイクル率を引き上げます。
   2) フロン回収業の業務を行います。
   3) 工事業におけるアスベスト事前調査業務を行います。

4. 環境コミニュケーションの積極的実施を行います。
   1) 環境活動レポートの社外への公開、および産廃ネットによる情報公開を通し、利害関係者とのコミュニケーション向上に努めます。
   2) エコアクション21による環境マネジメントシステムを活用した社員教育を実施します。
   3) SDGsへの取り組みを社内外に公表します。

改定　令 和 4 年 4 月 1 日

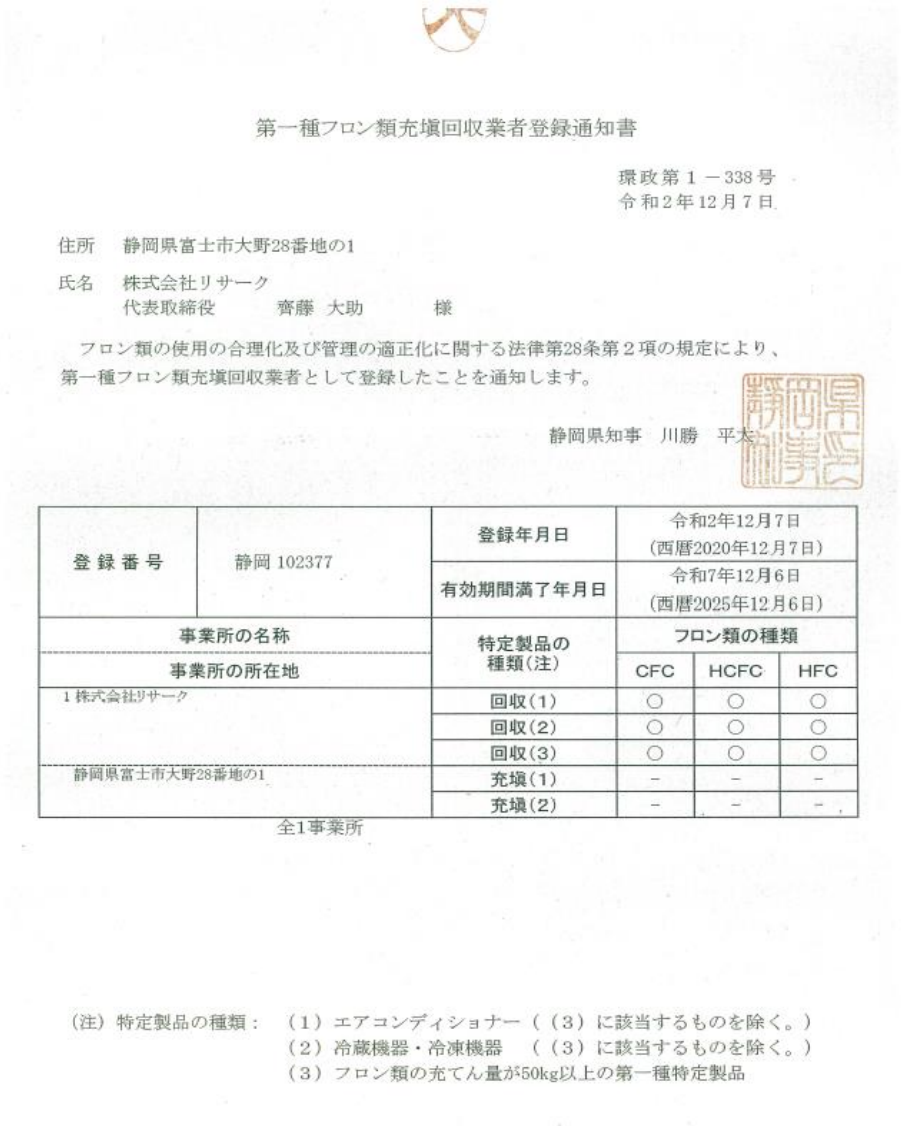
株式会社 リサーク

代表取締役社長　齊藤大助

4-① フロン回収業務への取り組み

フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律の改正が行われ、2020年4月1日より施行されました。法改正に伴い、弊社では自社でフロン回収業務を行えるよう**第一種フロン類充填回収業者の**登録を行いました。

これにより、外部に回収依頼をしていた場合に比べ、コストを削減することが可能となり、解体工事受注の際、フロン回収を自社で行えることにより、顧客獲得の強みを図りました。



第一種フロン類充填回収業者登録通知書

環政第１－338号
令和２年12月７日

住所　静岡県富士市大野28番地の1

氏名　株式会社リサーク
代表取締役　齊藤 大助　様

フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律第28条第２項の規定により、第一種フロン類充填回収業者として登録したことを通知します。

静岡県知事　川勝　平太

登録番号	静岡 102377	登録年月日	令和2年12月7日（西暦2020年12月7日）		
		有効期間満了年月日	令和7年12月6日（西暦2025年12月6日）		
事業所の名称 / 事業所の所在地		特定製品の種類(注)	フロン類の種類		
			CFC	HCFC	HFC
1 株式会社リサーク		回収(1)	○	○	○
		回収(2)	○	○	○
		回収(3)	○	○	○
静岡県富士市大野28番地の1		充塡(1)	－	－	－
		充塡(2)	－	－	－

全1事業所

（注）特定製品の種類：（1）エアコンディショナー（（3）に該当するものを除く。）
（2）冷蔵機器・冷凍機器　（（3）に該当するものを除く。）
（3）フロン類の充てん量が50kg以上の第一種特定製品

4-② ＳＤＧｓへの取り組み

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

ＳＤＧｓ宣言書

株式会社リサーク

2022年3月４日

当社はSDGsの内容を理解し、
SDGs達成に向けた取り組みを下記のとおり宣言します。

取り組みカテゴリ	SDGs達成に向けた重点的な取組テーマ	2030年に向けた目標　具体的な取り組み
人権・労働	ハラスメントの禁止	●ハラスメント対応担当者を選任し、ハラスメントに関するマニュアルの作成、研修の実施により、社内に周知徹底を行います。
環境	3Rの推進	●協力会社（出荷先）の新規開拓を行い、リサイクル率の更なる向上を図ります。
公正な事業慣行 組織体制	サプライチェーン管理・事業継続	●下請企業の環境方針への取り組みを定期的に確認します。 ●BCP（事業継続計画）の策定と計画に基づく準備実行を行います。
製品・サービス	環境配慮製品・品質保証	●適切な廃棄物の処理を行うため、関連する法律を遵守したサービスの提供を目指します。 ●お取引先の苦情、要望に対応するためマニュアルを作成し、サービスの品質向上を図ります。
社会貢献 地域貢献	社会貢献活動・地域への影響の配慮	●地元地域における美化活動（道路清掃・草刈）を行います。 ●当社事業の地域への影響を把握し、対外的に公表します。

SDGsとは、Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称。2015年9月に国連で採択された2030年までの国際目標。
17のゴール（目標）と169項目のターゲット（達成基準）から構成され、政府・企業・地域社会のあらゆる人がSDGsを実現するための役割を担っています。

5-① 中期目標

《産廃事業部・総務課》

【1】産廃部門売上百万円当りの二酸化炭素排出量

項目	実績	単位	中期環境目標			
	2021年度(基準年度)		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
産廃部門売上百万円当りの二酸化炭素排出量	783.38	kg-CO2/百万円	782.60	782.20	781.81	781.42
	削減率%		0.10%	0.15%	0.20%	0.25%

是正処置：昨年度更新審査にての指摘にて追加項目

【2】リサイクル率の向上

項目	実績	単位	中期環境目標			
	2021年度(基準年度)		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
①受託産業廃棄物(全体)のリサイクル率の向上	77.59%	%	77.66%	77.68%	77.70%	77.72%
	向上		0.10%	0.125%	0.15%	0.175%
②受託産業廃棄物(廃プラスチック類)のリサイクル率の向上	37.73%	%	37.77%	37.78%	37.79%	37.80%
	向上		0.10%	0.125%	0.15%	0.175%

是正処置：搬出先変更により大幅に向上したため基準年度変更

【3】がれき類処理1ｔ当たりの水道水使用量

項目	実績	単位	中期環境目標			
	2021年度(基準年度)		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
がれき類処理1ｔ当たりの水道水使用量	0.06444	m^3/t	0.06444	0.06438	0.06438	0.06438
	削減率%		0.0%	0.10%	0.10%	0.10%

是正処置：基準年度の統一

【4】環境資源削減

項目	実績	単位	中期環境目標			
	2021年度(基準年度)		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
①紙使用量削減	128.30	ｋｇ	128.24	128.17	128.11	128.04
	削減率%		0.05%	0.10%	0.15%	0.20%

是正処置：基準年度の統一

項目	実績	単位	中期環境目標			
	2021年度(基準年度)		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
②事業系一般廃棄物排出量削減 ※コロナウイルス終息傾向のため変更	176.97	ｋｇ	176.79	176.70	176.70	176.70
	削減率%		0.10%	0.15%	0.15%	0.15%

是正処置：基準年度の統一

【5】産廃部門燃費の向上

項目	実績	単位	中期環境目標			
	2021年度(基準年度)		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
収集運搬車両(軽油)	4.722	km/ℓ	4.727	4.729	4.731	4.732
	向上率		0.10%	0.15%	0.20%	0.21%
営業車(ガソリン)	19.880	km/ℓ	19.900	19.910	19.920	19.922
	向上率		0.10%	0.15%	0.20%	0.21%
構内使用車両(軽油)	9.110	min/ℓ	9.119	9.124	9.128	9.129
	向上率		0.10%	0.15%	0.20%	0.21%
構内使用車両(A重油)	5.810	min/ℓ	5.816	5.819	5.822	5.822
	向上率		0.10%	0.15%	0.20%	0.21%

是正処置：昨年度更新審査にての指摘にて追加し基準年度統一

5-① 中期目標

《工事事業部》

【1】工事部門売上百万円当たりの二酸化炭素排出量・エネルギー使用量

項目	目標値	単位	中期環境目標			
	2021年度(基準年度)		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
工事部門売上百万円当たりの二酸化炭素排出量	261.49	kg-CO2/百万円	261.49	261.23	261.10	260.97
	削減率%		0.0%	0.10%	0.15%	0.20%
①工事部門売上百万円当たりの軽油使用量	90.83	ℓ/百万円	90.83	90.74	90.69	90.65
	削減率%		0.0%	0.10%	0.15%	0.20%

是正処置：基準年度の統一するために21年度目標値を基準とする

【2】工事部門車両燃費向上

項目	実績	単位	中期環境目標			
	2021年度(基準年度)		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
工事使用車両(軽油)	4.767	km/ℓ	4.772	4.774	4.777	4.777
	向上率		0.1%	0.15%	0.2%	0.2%
工事使用車両(ガソリン)	13.043	km/ℓ	13.056	13.063	13.069	13.070
	向上率		0.1%	0.15%	0.2%	0.2%

是正処置：昨年度更新審査にての指摘にて追加し基準年度統一

【2】廃棄物削減

現場における廃棄物分別の徹底	・廃棄物分別方法の講習の実施
	・廃棄物分別方法の表示

5-② 短期目標

《産廃事業部・総務課》

【1】産廃部門売上百万円当りの二酸化炭素排出量

項目	実績	単位	短期環境目標
	2021年度(基準年度)		2022年度
産廃分門売上百万円当りの二酸化炭素排出量	783.38	kg-CO2/百万円	782.60
	削減率%		0.10%

【2】リサイクル率の向上

項目	実績	単位	短期環境目標
	2021年度(基準年度)		2022年度
①受託産業廃棄物(全体)のリサイクル率の向上	77.59%	%	77.66%
	向上		0.10%
②受託産業廃棄物(廃プラスチック類)のリサイクル率の向上	37.73%	%	37.77%
	向上		0.10%

【3】がれき類処理1ｔ当たりの水道水使用量

項目	実績	単位	短期環境目標
	2021年度(基準年度)		2022年度
がれき類処理1ｔ当たりの水道水使用量	0.06444	㎥/t	0.06444
	削減率%		0.00%

【4】環境資源削減

項目	実績	単位	短期環境目標
	2021年度(基準年度)		2022年度
①紙使用量削減	128.30	ｋｇ	128.24
	削減率%		0.05%
②事業系一般廃棄物排出量削減	176.97	ｋｇ	176.79
	削減率%		0.10%

【5】産廃部門燃費の向上

項目	実績	単位	短期環境目標
	2021年度(基準年度)		2022年度
収集運搬車両(軽油)	4.722	km/ℓ	4.727
	向上率		0.10%
営業車(ガソリン)	19.880	km/ℓ	19.900
	向上率		0.10%
構内使用車両(軽油)	9.110	min/ℓ	9.119
	向上率		0.10%
構内使用車両(A重油)	5.810	min/ℓ	5.816
	向上率		0.10%

5-② 短期目標

《工事事業部》

【1】工事部門売上百万円当たりの二酸化炭素排出量・エネルギー使用量

項目	目標値	単位	短期環境目標
	2021年度(基準年度)		2022年度
工事部門売上百万円当たりの二酸化炭素排出量	261.49	kg-CO2/百万円	261.49
	削減率%		0.00%
①工事部門売上百万円当たりの軽油使用量	90.83	ℓ/百万円	90.83
	削減率%		0.00%

【2】工事部門燃費の向上

項 目	基準年度実績	単位	短期環境目標
	2021年度		2022年度
工事使用車両(軽油)	4.767	km/ℓ	4.772
	向上率		0.1%
工事使用車両(ガソリン)	13.043	km/ℓ	13.056
	向上率		0.1%

【3】廃棄物削減

現場における廃棄物分別の徹底	・廃棄物分別方法の講習の実施
	・廃棄物分別方法の表示

6. 環 境 活 動 計 画

6-① 主要な活動計画 ※は中期目標関連項目

《産廃事業部・総務課》

【1】リサイクル率の向上※

目標	SDGs	活動	担当
①受託産業廃棄物のリサイクル率の向上 ②受託産業廃棄物(廃プラスチック類)の リサイクル率の向上		・リサイクルルートの確保	鈴木
		・受託産業廃棄物の分別の徹底	鈴木
		・顧客への分別提案	鈴木
		・毎月のリサイクル率把握	鈴木

【2】がれき類処理1ｔ当たりの水道水使用量※

目標	SDGs	活動	担当
水使用量の削減		・「節水」の表示	鈴木
		・節水こまの設置	鈴木
		・水漏れ点検の実施	鈴木

【3】環境資源削減※

目標	SDGs	活動	担当
①紙使用量削減		・コピー用紙の両面使用	宮島
		・裏紙使用の徹底	宮島
		・ペーパーレス化	宮島
②事業系一般廃棄物排出量削減		・リサイクルボックスの設置・利用	宮島

【4】二酸化炭素排出量の削減

目標		SDGs	活動	担当
二酸化炭素排出量の削減	①購入電力削減		・冷暖房管理　夏26℃　冬24℃	宮島
			・待機電力、不使用時の電源オフ	宮島
			・不要照明の消灯の徹底	宮島
			・中間処分施設設備稼働時間管理	鈴木
			・二酸化炭素排出係数の低い電力会社の選定、利用	鈴木
	②化石燃料使用削減		・エコドライブの徹底	加藤
			・アイドリングストップ	加藤
			・効率的なルートの選択	加藤
			・燃費データの把握	加藤
			・タイヤ空気圧の定期点検	加藤
			・作業場重機のアイドリングストップ	鈴木
			・無駄な操作、動作厳禁（作業場内）	鈴木

《工事事業部》

【1】工事等現場における環境活動※

目標		SDGs	活動	担当
二酸化炭素排出量の削減	①工事売上 百万円当たりの 軽油使用量		・エコドライブの徹底	稲葉
			・アイドリングストップ	稲葉
			・効率的なルートの選択	稲葉
			・燃費データの把握	加藤
			・タイヤ空気圧の定期点検	稲葉
			・作業場重機のアイドリングストップ	稲葉
			・無駄な操作、動作厳禁（作業場内）	稲葉

【２】廃棄物削減※

現場における廃棄物分別の徹底		・廃棄物分別方法の講習の実施	庄司
		・廃棄物分別方法の表示	庄司

☆事務用品等のグリーン購入は、優先的に購入しているため目標活動から外す。

6-② 2022年度 環境活動計画表

《産廃事業部・総務課》

環境目標	取組項目	SDGs	環境活動計画	担当者	実行者	2022.5～2023.4実施スケジュール
						2022.5 / 2022.6 / 2022.7 / 2022.8 / 2022.9 / 2022.10 / 2022.11 / 2022.12 / 2023.1 / 2023.2 / 2023.3 / 2023.4
【1】リサイクル率の向上	①受託産業廃棄物のリサイクル率の向上 ②受託産業廃棄物(廃プラスチック類)のリサイクル率の向上	12 13 14	・リサイクルルートの確保	鈴木	統括部長 処理係	
			・受託産業廃棄物の分別の徹底	鈴木	統括部長 処理係	
			・顧客への分別提案	鈴木	統括部長 処理係	
			・毎月のリサイクル率把握	鈴木	統括部長 処理係	
【2】がれき類処理1ｔ当たりの水道水使用量	水使用量の削減	12	・「節水」の表示	鈴木	全従業員	
			・節水こまの設置	鈴木	全従業員	
			・水漏れ点検の実施	鈴木	全従業員	
【3】環境資源削減	①紙使用量削減	12 13 14 15	・コピー用紙の両面使用	宮島	全従業員	
			・裏紙使用の徹底	宮島	全従業員	進捗状況確認 / 進捗状況確認 / 進捗状況確認
			・ペーパーレス化	宮島	全従業員	
	②事業系一般廃棄物排出量削減		・ﾘｻｲｸﾙﾎﾞｯｸｽの設置・利用	宮島	全従業員	
【4】二酸化炭素排出量の削減 水使用量の削減	①購入電力削減	7	・冷暖房管理 夏26℃　冬24℃	宮島	全従業員	
			・待機電力、不使用時の電源オフ	宮島	全従業員	
			・不要照明の消灯の徹底	宮島	全従業員	
			・中間処分施設機械稼働時間管理	鈴木	中間 処分場 作業員	
			・二酸化炭素排出係数の低い電力会社の選定、利用	鈴木	全従業員	
	②化石燃料削減	13	・エコドライブの徹底	加藤	各運転手	
			・アイドリングストップ	加藤	各運転手	
			・効率的なルートの選択	加藤	各運転手	
			・燃費データの把握	加藤	各運転手	
			・タイヤ空気圧の定期点検	加藤	各運転手	
			・作業場重機のアイドリングストップ	鈴木	中間 処分場 作業員	
			・無駄な操作、動作厳禁(作業場内)	鈴木	中間 処分場 作業員	

《工事事業部》

環境目標	取組項目	SDGs	環境活動計画	担当者	実行者	2022.5～2023.4実施スケジュール
						2022.5 / 2022.6 / 2022.7 / 2022.8 / 2022.9 / 2022.10 / 2022.11 / 2022.12 / 2023.1 / 2023.2 / 2023.3 / 2023.4
【1】二酸化炭素排出量の削減	①化石燃料削減	7 13	・エコドライブの徹底	稲葉	各運転手	
			・アイドリングストップ	稲葉	各運転手	
			・効率的なルートの選択	稲葉	各運転手	
			・燃費データの把握	加藤	各運転手	進捗状況確認 / 進捗状況確認 / 進捗状況確認
			・タイヤ空気圧の定期点検	稲葉	各運転手	
			・作業場重機のアイドリングストップ	稲葉	工事事業部及び協力会社	
			・無駄な操作、動作厳禁(作業場内)	稲葉	工事事業部及び協力会社	
【２】廃棄物削減	現場における廃棄物分別の徹底	12 14	・廃棄物分別方法の講習実施	庄司	工事事業部及び協力会社	
			・廃棄物分別方法の表示	庄司	工事事業部及び協力会社	

7. 環境経営目標(短期)の実績評価

【7-① 実績・評価　産廃事業部・総務課】

【1】産廃部門売上百万円当りの二酸化炭素排出量

項目	短期環境目標	単位	実績	達成	評価
	2022年度		2022年5月～2023年4月		
産廃部門売上百万円当りの二酸化炭素排出量	782.60	kg-CO2/百万円	725.29	○	アイドリングストップ徹底などにより目標達成出来ました。
	削減率%		7.3%		

【2】リサイクル率の向上

項目	短期環境目標	単位	実績	達成	評価
	2022年度		2022年5月～2023年4月		
①受託産業廃棄物(全体)のリサイクル率の向上	77.66%	%	77.72%	○	・日頃の選別作業努力結果で達成出来ました。
	向上率%		0.06%		
②受託産業廃棄物(廃プラスチック類)のリサイクル率の向上	37.77%	%	38.45%	○	・搬出先を見直した事により目標達成できました。
	向上率%		0.68%		

【3】がれき類処理1ｔ当たりの水道水使用量

項目	短期環境目標	単位	実績	達成	評価
	2022年度		2022年5月～2023年4月		
がれき類処理1ｔ当たりの水道水使用量	0.06444	㎥/t	0.05076	○	不使用時の閉栓徹底、使用時の節水により達成できました。
	削減率%		21.22%		

【4】環境資源削減

項目	短期環境目標	単位	実績	達成	評価
	2022年度		2022年5月～2023年4月		
①紙使用量削減	128.24	ｋｇ	130.60	△	未達成（3%未満）のためさらなる努力が必要。社内で使用する紙やメモ用紙を裏紙を使用する等改善してきます。
	削減率%		-1.8%		
②事業系一般廃棄物排出量削減	176.79	ｋｇ	155.20	○	コロナ禍が落ち着いてきたことにより総量が減り達成出来ました。
	削減率%		12.2%		

【5】産廃部門燃費の向上

項　目	短期環境目標	単位	実績	達成	評価
	2022年度		2022年5月～2023年4月		
収集運搬車両(軽油)	4.727	km/ℓ	4.737	○	新車への車両入替により基準年度より向上しました。
	向上率		0.22%		
営業車(ガソリン)	19.900	km/ℓ	19.920	○	アイドリングストップ等を強化し停車時はエンジンを切るなど個々の意識が改善し向上しました。
	向上率		0.10%		
構内使用車両(軽油)	9.119	min/ℓ	9.157	○	アイドリングストップ等を強化し向上しました。
	向上率		0.42%		
構内使用車両(A重油)	5.816	min/ℓ	5.844	○	基準年度を見直したことと、アイドリングストップの徹底により達成することができました。ただし、老朽による燃費の悪さは否定できず、入替（中古）も視野に入れる必要ありです。
	向上率		0.48%		

達成記号の基準 ・達成から未達成1%未満は○

・未達成1%以上３%未満は△

・未達成３%以上は×

7. 環境経営目標(短期)の実績評価2

【実績データ】

【１】二酸化炭素排出量

項目	実績	単位	実績		次年度目標
	2021年度(基準年度)		2022年5月～2023年4月		・軽油の使用量削減
総排出量	253,781.41		254,504.51		・電気料金値上げもあるため節電に努める
①購入電力による二酸化炭素排出量	23,460.68		22,414.00		
排出係数 日本テクノ ： 0.468 (2023年度4月現在)	48,273.0	ｋｗｈ	48,298.0		
②化石燃料使用による二酸化炭素排出量	化石燃料使用による二酸化炭素排出量	kg-CO2	化石燃料使用による二酸化炭素排出量	kg-CO2	
排出系数	230,321.0		232,090.0		
ガソリン： 2.32	ガソリン	ℓ	ガソリン	ℓ	
	2,398.1		1,738.0		
軽油： 2.59	軽油	ℓ	軽油	ℓ	
	83,764.1		85,765.9		
A重油： 2.71	A重油	ℓ	A重油	ℓ	
	2,997.0		2,305.0		

【２】受託産業廃棄物量・水使用量

項 目	基準年度実績		実績	次年度目標
	2021年度	単位	2022年5月～2023年4月	
受託産業廃棄物処理量	10,405.06	t	10,760.36	
がれき処理量	6,398.03	t	6,681.79	
水道水	412.30	㎥	339.20	

【3】産廃部門売上データ

項 目	基準年度実績		実績	次年度目標
	2021年度	単位	2022年5月～2023年4月	値上げ効果もあると思いますが、営業努力を続ける
産廃売上	324.3	百万円	350.9	

7. 環境経営目標(短期)の実績評価

【7-② 実績・評価　工事事業部】

【1】工事部門売上百万円当たりの二酸化炭素排出量・エネルギー使用量

項目	短期環境目標	単位	実績	達成	評価
	2022年度		2022年5月～2023年4月		
工事部門売上百万円当たりの二酸化炭素排出量	261.49	kg-CO2/百万円	249.00	○	目標達成できました。
	削減率%		4.8%		
①工事部門売上百万円当たりの軽油使用量	90.83	ℓ/百万円	72.23	○	目標達成できました。
	削減率%		20.5%		

【2】工事部門燃費向上

項　目	短期環境目標	単位	実績	達成	評価
	2022年度		2022年5月～2023年4月		
工事部門使用車両(軽油)	4.768	km/ℓ	4.770	○	3月よりEX120よりZX135の新車を導入後、燃費が向上したため、目標達成出来ました。
	向上率		0.04%		
工事部門使用車両(ガソリン)	13.044	km/ℓ	13.288	○	目標達成できました。
	向上率		1.9%		

達成記号の基準 ・達成から未達成1%未満は○

・未達成1%以上３%未満は△

・未達成３%以上は×

【3】廃棄物削減

項目	短期環境目標	達成	評価
現場における廃棄物分別の徹底	・廃棄物分別方法の講習の実施	○	現場にて講習・掲示を実施しました。
	・廃棄物分別方法の表示	○	

【実績データ】

【１】二酸化炭素排出量

項目	実績	単位	実績		次年度目標
	2021年度(基準年度)		2022年5月～2023年4月		
総排出量	48,701.0	kg-CO2	85,000.47	kg-CO2	使用重機（EX120）廃止、令和5年３月～新車を導入
化石燃料使用による二酸化炭素排出量	化石燃料使用による二酸化炭素排出量	kg-CO2	化石燃料使用による二酸化炭素排出量	kg-CO2	売上が上がるにしたがって総排出量は増えますが燃費の向上などさらに強化していく
排出係数	48,701.0		85,000.47		
ガソリン： 2.32	ガソリン	ℓ	ガソリン	ℓ	車両台数が増えた為、アイドリングストップ等の教育
	3,072.0		9,145.7		
軽油： 2.59	軽油	ℓ	軽油	ℓ	
	16,073.4		24,656.5		

【２】工事売上データ

項　目	基準年度実績		実績	次年度目標
	2021年度	単位	2022年5月～2023年4月	・アスベスト関連の業務の拡大と営業努力による顧客増加
工事売上	298.0	百万円	341.4	

8. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度取組内容

8-①2022年度環境活動計画実施状況確認表

《産廃事業部・総務課》

環境目標	取組項目	SDGs	環境活動計画	担当者	実行者	2022.5～2023.4
【1】リサイクル率の向上	①受託産業廃棄物のリサイクル率の向上 ②受託産業廃棄物(廃プラスチック類)のリサイクル率の向上		・リサイクルルートの確保	鈴木	統括部長 処理係	○
			・受託産業廃棄物の分別の徹底	鈴木	統括部長 処理係	○
			・顧客への分別提案	鈴木	統括部長 処理係	○
			・毎月のリサイクル率把握	鈴木	統括部長 処理係	○
【2】がれき類処理1ｔ当たりの水道水使用量	水使用量の削減		・「節水」の表示	鈴木	全従業員	○
			・節水こまの設置	鈴木	全従業員	○
			・水漏れ点検の実施	鈴木	全従業員	○
【3】環境資源削減	①紙使用量削減		・コピー用紙の両面使用	宮島	全従業員	△
			・裏紙使用の徹底	宮島	全従業員	△
			・ペーパーレス化	宮島	全従業員	×
	②事業系 一般廃棄物 排出量削減		・ﾘｻｲｸﾙﾎﾞｯｸｽの設置・利用	宮島	全従業員	○
【4】二酸化炭素排出量の削減 水使用量の削減	①購入電力削減		・冷暖房管理 夏26℃　冬24℃	宮島	全従業員	△
			・待機電力、不使用時の 電源オフ	宮島	全従業員	○
			・不要照明の消灯の徹底	宮島	全従業員	△
			・中間処分施設機械 稼働時間管理	鈴木	中間 処分場 作業員	○
			・二酸化炭素排出係数の低い 電力会社の選定、利用	鈴木	全従業員	○
	②化石燃料削減		・エコドライブの徹底	加藤	各運転手	○
			・アイドリングストップ	加藤	各運転手	○
			・効率的なルートの選択	加藤	各運転手	○
			・燃費データの把握	加藤	各運転手	○
			・タイヤ空気圧の定期点検	加藤	各運転手	○
			・作業場重機の アイドリングストップ	鈴木	中間 処分場 作業員	△
			・無駄な操作、動作厳禁 (作業場内)	鈴木	中間 処分場 作業員	△

《工事事業部》

環境目標	取組項目	SDGs	環境活動計画	担当者	実行者	2022.5～2023.4
【1】二酸化炭素排出量の削減	①化石燃料削減		・エコドライブの徹底	稲葉	各運転手	○
			・アイドリングストップ	稲葉	各運転手	○
			・効率的なルートの選択	稲葉	各運転手	○
			・燃費データの把握	加藤	各運転手	○
			・タイヤ空気圧の定期点検	稲葉	各運転手	○
			・作業場重機の アイドリングストップ	稲葉	解体部門 及び 協力会社	△
			・無駄な操作、動作厳禁 (作業場内)	稲葉	解体部門 及び 協力会社	△
【２】廃棄物削減	現場における廃棄物分別の徹底		・廃棄物分別方法の 講習実施	庄司	解体部門 及び 協力会社	○
			・廃棄物分別方法の表示	庄司	解体部門 及び 協力会社	○

8-② 問題点の是正及び予防処置の結果

a）取組項目別

《産廃事業部・総務課》

環境目標	取組項目	環境活動計画	問題点	是正及び予防処置
【1】リサイクル率の向上	①受託産業廃棄物のリサイクル率の向上 ②受託産業廃棄物(廃プラスチック類)のリサイクル率の向上	・リサイクルルートの確保		統括、営業部門、解体部門による情報収集。
		・受託産業廃棄物の分別の徹底		新入社員の教育を実施。更なる向上を目指しマニュアル作成中。
		・顧客への分別提案	分別をすることによりコンテナ個数が足りなくなる可能性がある	価格提示と同時に実施をしてコンテナの増設を経費に組込む
		・毎月のリサイクル率把握		毎月のタスクとして実施。HPにて公開中。
【2】がれき類処理1ｔ当たりの水道水使用量	水使用量の削減	・「節水」の表示	引き続き、近隣への粉塵対策のため散水機①使用時に常時散水を行っているため、がれきの搬入量と比例して水道水使用が増加する。また近年のモバイルバッテリー火災に備えて消火訓練頻度の増加による水道水使用増加、電池類選別により水使用を下げる努	各水道に「節水」の表示済み
		・節水こまの設置		各水道に設置済み
		・水漏れ点検の実施	チェックを忘れる日がある。	点検表の作成表示し役回りのローテンションにより二重チェック
【3】環境資源削減	①紙使用量削減	・コピー用紙の両面使用	両面印刷を呼びかけたが、達成には至らなかった	両面印刷可能なコピー機と片面刷りプリンターでコストに差がある為、コスト重視で片面プリンターを多用している。
		・裏紙使用の徹底		置場の変更と呼びかけを実施。
		・ペーパーレス化	客先伝票で手書きミスが起こる	システムと連動しプリントアウト方式のため冊子が無くなるため廃棄物削減につながったと思う。今後、将来的には請求書発行なども電子化することを今後の課題としていく必要がある。
	②事業系一般廃棄物排出量削減	・リサイクルボックスの設置・利用		分別ボックスの増設し更なる分別の呼びかけ。
【4】二酸化炭素排出量の削減 水使用量の削減	①購入電力削減	・冷暖房管理 夏26℃ 冬24℃	コロナ対策により、窓を開放するため温度調整が難しい	来期はコロナ終息傾向のため温度管理は徹底したいです。
		・待機電力、不使用時の電源オフ	解体分門との事務所が分離したためさらに徹底をする	リアルタイムの電力単価と時間当たりの使用量の表示し、使用量のアラームを設定することで節電の徹底呼びかけを行う。
		・不要照明の消灯の徹底		
		・中間処分施設機械 稼働時間管理		日報による稼働時間の記録を行っている。
		・二酸化炭素排出係数の低い電力会社の選定、利用	東京電力に変更後、料金が倍増	日本テクノへ3月より変更（見える化や料金が下がる効果あり）
	②化石燃料削減	・エコドライブの徹底	化石燃料価格上昇	昨年同様、化石燃料価格上昇などの情報を伝え、給油所各社の単価表を毎月掲示し価格の安い店舗での給油を努力義務としてる。
		・アイドリングストップ	化石燃料価格上昇	
		・効率的なルートの選択	顧客の時間指定などにより、効果的なルートを選択できない場合もある	収集運搬部門ミーティングで情報の共有、新人教育を実施しより効率的なルートの確保。
		・燃費データの把握		燃費データを月初めに集計し回覧をしている。燃費の悪かった車両に関して、収集運搬部門ミーティングで原因の追究と対策。計画的に車両の入替を検討。
		・タイヤ空気圧の定期点検		定期点検とパンク修理時に確認。
		・作業場重機の アイドリングストップ	化石燃料価格上昇	朝礼等で周知・徹底する。
		・無駄な操作、動作厳禁 （作業場内）		朝礼等で周知・徹底する。

《工事事業部》

環境目標	取組項目	環境活動計画	問題点	是正及び予防処置
【1】二酸化炭素排出量の削減	①化石燃料削減	・エコドライブの徹底	昨年同様、重機使用の大規模工事が増加傾向にあり、下請け業者を含めて教育の不徹底が見受けられる。	各ドライバーにアイドリングストップ等を順守してもらい、効果が出ているが、さらにアイドリングストップ等を意識し、また効率的なルート選択をしてもらい、燃費向上して二酸化炭素排出量削減に努める。
		・アイドリングストップ		
		・効率的なルートの選択		
		・燃費データの把握		
		・タイヤ空気圧の定期点検		
		・作業場重機の アイドリングストップ		
		・無駄な操作、動作厳禁 （作業場内）		
【2】廃棄物削減	現場における廃棄物分別の徹底	・廃棄物分別方法の講習の実施		協力会安全ミーティング時に講習会を実施する。
		・廃棄物分別方法の表示		廃棄物分別表をラミネート作成し、各現場に設置する。

b) 全 体

・産廃部門売上百万円当たりの二酸化炭素排出量の項目を追加し、さらに基準年度を統一しました。
・今年は、電気料金の大幅な変動があり、サニックス➡東京電力➡日本テクノと3社の変更がありましたが、日本テクノへ変更することにより電気料金が抑えられ、なお、スマート時計などの電力の見える化が、出来るようになり、社員の意識も多少興味を持ってもらえるようになったと思います。
・コロナも終息傾向になり、来期はマスクも外せるようになるため、夏場のエアコン温度徹底をし、環境目標達成出来なかった紙の使用を徹底する対策を強化したいと考えています。（ペーパーレス化構築）
・車両（トラック・重機）も入替が進んでいるので、さらにアイドリングストップ等を徹底してきたいです。
・廃棄物リサイクル率は昨年向上し本年度は環境目標を変更し不安だったが、選別の徹底を作業が努力もかいあって達成出来ました。
・SGDs宣言する事により、サスティナブル（持続可能）世界基準として世の中の一員として活動する意欲をさらに持ってもらうため全体集会でSGDsを説明し、今後さらに教育機会を増やしたいです。

8-③ 2023年度 環境活動計画表

《産廃事業部・総務課》

環境目標	取組項目	SDGs	環境活動計画	担当者	実行者	2023.5～2024.4実施スケジュール
						2023.5 2023.6 2023.7 2023.8 2023.9 2023.10 2023.11 2023.12 2024.1 2024.2 2024.3 2024.4
【1】リサイクル率の向上	①受託産業廃棄物のリサイクル率の向上 ②受託産業廃棄物(廃プラスチック類)のリサイクル率の向上	12 13 14	・リサイクルルートの確保	鈴木	統括部長 工事事業部	↑ ↑
			・受託産業廃棄物の分別の徹底	鈴木	統括部長 処理課	
			・顧客への分別提案	鈴木	統括部長 処理課	
			・毎月のリサイクル率把握	鈴木	統括部長 処理課	
【2】がれき類処理1ｔ当たりの水道水使用量	水使用量の削減	12	・「節水」の表示	鈴木	全従業員	
			・節水こまの設置	鈴木	全従業員	
			・水漏れ点検の実施	鈴木	全従業員	
【3】環境資源削減	①紙使用量削減	12 13 14	・コピー用紙の両面使用	宮島	全従業員	
			・裏紙使用の徹底	宮島	全従業員	進捗状況確認 進捗状況確認 進捗状況確認
			・ペーパーレス化	宮島	全従業員	
	②事業系一般廃棄物排出量削減	15	・ﾘｻｲｸﾙﾎﾞｯｸｽの設置・利用	宮島	全従業員	
【4】二酸化炭素排出量の削減 水使用量の削減	①購入電力削減	7	・冷暖房管理 夏26℃ 冬24℃	宮島	全従業員	
			・待機電力、不使用時の電源オフ	宮島	全従業員	
			・不要照明の消灯の徹底	宮島	全従業員	
			・中間処分施設機械稼働時間管理	鈴木雅	中間処分場作業員	
			・二酸化炭素排出係数の低い電力会社の選定、利用	鈴木	全従業員	
	②化石燃料削減	13	・エコドライブの徹底	加藤	各運転手	
			・アイドリングストップ	加藤	各運転手	
			・効率的なルートの選択	加藤	各運転手	
			・燃費データの把握	加藤	各運転手	
			・タイヤ空気圧の定期点検	加藤	各運転手	
			・作業場重機のアイドリングストップ	鈴木雅	中間処分場作業員	
			・無駄な操作、動作厳禁（作業場内）	鈴木雅	中間処分場作業員	

《工事事業部》

環境目標	取組項目	SDGs	環境活動計画	担当者	実行者	2023.5～2024.4実施スケジュール
						2023.5 2023.6 2023.7 2023.8 2023.9 2023.10 2023.11 2023.12 2024.1 2024.2 2024.3 2024.4
【1】二酸化炭素排出量の削減	①化石燃料削減	7 13	・エコドライブの徹底	稲葉	各運転手	↑ ↑
			・アイドリングストップ	稲葉	各運転手	
			・効率的なルートの選択	稲葉	各運転手	
			・燃費データの把握	加藤	各運転手	進捗状況確認 進捗状況確認 進捗状況確認
			・タイヤ空気圧の定期点検	時田	各運転手	
			・作業場重機のアイドリングストップ	時田	工事事業部及び協力会社	
			・無駄な操作、動作厳禁（作業場内）	時田	工事事業部及び協力会社	
【２】廃棄物削減	現場における廃棄物分別の徹底	12 14	・廃棄物分別方法の講習実施	庄司	工事事業部及び協力会社	
			・廃棄物分別方法の表示	庄司	工事事業部及び協力会社	

9．環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価及び違反、訴訟等の有無

作成日： 2023年 4月 28日

① 環境関連法規等の遵守状況の確認

毎年4月末に対象法規制を見直す

廃棄物の収集運搬 ・ 処理 ・ リサイクル法令									
環境法規制等の名称/略称	規制内容			実　施		文書 ・ 記録（例）【有資格者等】	確認		
	届出、作業等	適用範囲	適用条件	手続き・遵守事項	承認				
廃棄物処理法	産業廃棄物収集運搬業（届出は各県知事）		各許可証通り	処理基準遵守	○		8/22	12/5	4/28
				契約書の締結	○		8/22	12/5	4/28
				ﾏﾆﾌｪｽﾄの確認処理	○	Ｂ2票を10日以内に排出事業者に送付	8/22	12/5	4/28
				年間報告	○	毎年6月までに前年分の報告をする	4/30に提出		
				マニフェストの保管	○	Ｂ1票、Ｃ2票の5年間の保管、帳簿ﾃﾞｰﾀの保管	8/22	12/5	4/28
				許可の更新	○	5年毎の更新 更新前の法定講習の実施	8/22	12/5	4/28
				変更時の届出	○		8/22	12/5	4/28
				変更時の届出	○		2020/20	12/5	4/28
	産業廃棄物処分業（届出は静岡県知事）		許可証通り	処理基準遵守	○	年間報告から 処理能力範囲内であることの確認	毎月照合		
				契約書の締結	○	ﾏﾆﾌｪｽﾄから 契約書の照合確認	8/22	12/5	4/28
				ﾏﾆﾌｪｽﾄの確認処理	○	運搬受託者へ10日以内にＣ2票の返却、排出事業者へＤ票を90日以内に返却、Ｅ票を180日以内に返却	8/22	12/5	4/28
				年間報告	○	毎年6月中に前年分の報告をする	5/上旬に提出		
				マニフェストの保管	○	Ｃ1票の5年間の保管、帳簿データの保管	8/22	12/5	4/28
				許可更新	○	5年毎に更新 更新前の法定講習の実施	8/22	12/5	4/28
				変更時の届出	○	変更届の確認	8/22	12/5	4/28
静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例【条例第10号】	産業廃棄物処理の委託先の実地確認、記録、保存	静岡県の排出事業者	静岡県の排出事業者	委託契約締結前の受託業者への実地確認	○	確認の結果を記録	8/22	12/5	4/28
				契約後、毎年1回以上の処理状況の確認	○	確認の結果を記録	8/22	12/5	4/28
				処分場視察記録の保存	○	5年間の保存	8/22	12/5	4/28
				排出事業者の実地確認の受入	○	排出事業者の実地確認受入の記録	8/22	12/5	4/28
産業廃棄物管理票《マニフェスト》の交付状況報告	産業廃棄物収集運搬業・処分業（届出は県知事又は市長）	マニフェスト発行業者		年間報告	○	毎年6月30日までに前年分の報告をする	4/30に提出		
家電リサイクル法	小売店資格取得R4・3/4～	特定家庭用機器	テレビ、エアコン、冷蔵庫、洗濯機以上 4種類	家電ﾘｻｲｸﾙ券購入後小売店へ排出	○	伝票の管理・置場の管理	8/22	12/5	4/28

公害 ・ 環境法令									
環境法規制等の名称/略称	規制内容			実　施		文書 ・ 記録（例）【有資格者等】	確認		
	届出、作業等	適用範囲	適用条件	手続き・遵守事項	承認				
水質汚濁防止法	産業廃棄物の中間処理	油水分離槽		基準値遵守	○	水質汚濁に関して近隣の方から指摘を頂いた場合にのみ計測をする	8/22	12/5	4/28
騒音規制法	産業廃棄物の中間処理	破砕施設	基準値 55ﾃﾞｼﾍﾞﾙ以下	基準値遵守	○	騒音に関して近隣の方から指摘を頂いた場合にのみ測定をする	8/22	12/5	4/28
振動規制法	産業廃棄物の中間処理	破砕施設	基準値 65ﾃﾞｼﾍﾞﾙ以下	基準値遵守	○	振動に関して近隣の方から指摘を頂いた場合にのみ測定をする	8/22	12/5	4/28
浄化槽法	産業廃棄物の中間処理	分離接触ﾊﾞｯｷ浄化槽	基準値遵守	基準値遵守	○	3ヶ月1回 保守点検 1回/年　清掃 特定業者作業 維持管理表を保管	8/22	12/5	4/28
浄化槽法	産業廃棄物の中間処理	浄化槽法定（11条検査）	基準値遵守	基準値遵守	○	1年1回 法定検査業者 検査実施報告書を保管	7/10実施		
悪臭防止法	産業廃棄物の中間処理	中間処理施設	基準値遵守	基準値遵守	○	臭いに関して近隣の方から指摘を頂いた場合にのみ測定をする	8/22	12/5	4/28
フロン排出抑制法	産業廃棄物の中間処理	車両建設機械業務用エアコン	機器点検の実施	点検記録の保存	○	3ヶ月に1回以上の点検実施。点検記録簿の保存。	8/22	12/5	4/28
フロン排出抑制法	第一種フロン充填回収登録業者	CFC,HCFC,HFC	機器点検の実施	取引証明書の交付・保存	○	取引証明書確認	8/22	12/5	4/28
廃棄物処理法(水銀使用製品廃棄物)	産業廃棄物の収集運搬・中間処理	収集運搬車両 中間処理施設	水銀使用製品 産業廃棄物	ガイドラインの遵守	○	ﾏﾆﾌｪｽﾄの確認処理	8/22	12/5	4/28
建築物石綿含有建材調査者	各解体現場	各解体現場	石綿含有建材	基準値遵守	○	元受けへ調査票提出	8/22	12/5	4/28
NOx・PM法	産業廃棄物の収集運搬・	収集運搬車両	車種規制対策地域	運搬車両登録	○	車検証・車両一覧	8/22	12/5	4/28

その他関連法令									
環境法規制等の名称/略称	規制内容			実　施		文書 ・ 記録（例）【有資格者等】	確認		
	届出、作業等	適用範囲	適用条件	手続き・遵守事項	確認				
建設リサイクル法	建築物等の解体 届出は各市町村	一定規模以上の建築物等に関する建設工事		特定建設資材を分別解体等により現場で分別する	○	届出書類 控えの保管	8/22	12/5	4/28
騒音規制法	建設作業 届出は各市町村	道府県知事が指定する規制地域で特定建設作業を行う場合	85デシベル以上の騒音を発生する特定建設作業	日曜・休日に作業を行わない、近隣に十分な説明を行う。	○	現時点で該当工事無	8/22	12/5	4/28
盛土条例	産業廃棄物の中間処理	砕石販売・工事部土木工事等	1000m2以上の保管・覆土・盛土等	砕石搬出ロット毎の分析依頼	○	分析表保管		12/5	4/28

その他関連法令									
環境法規制等の名称/略称	規制内容			実　施		文書 ・ 記録（例）【有資格者等】	確認		
	届出、作業等	適用範囲	適用条件	手続き・遵守事項	確認				
道路運送車両法	収集運搬車両等の点検メンテナンス		法定点検 6ヶ月点検 12ヶ月点検 24ヶ月点検	点検記録票の保管	○	3年間の保管	8/22	12/5	4/28
道路交通法	アルコールチェッカー義務化	白ナンバー（営業車）運転対象者	安全運転管理者の選任を必要とする5台以上保有する事業者	業務開始アルコールテスター計測後,記録表・保管	○	1年間の保管	8/22	12/5	4/28
労働安全衛生法	車両建設機械、リフト等の点検メンテナンス		法定点検 始業検査 月次検査 年次検査	始業前点検簿の記入	○	日々の始業前に目視確認 3年間の保管	8/22	12/5	4/28
				点検記録票の保管	○	3年間の保管	8/22	12/5	4/28

② 環境関連法規等の遵守状況の評価

関連法規等の遵守状況の評価の結果、法規制等の逸脱は有りませんでした。

③ 違反、訴訟等の有無

過去3年間にわたって違反や訴訟はありませんでした。

10. 代表者による全体の評価と見直し指示

《 適切性、妥当性、有効性の評価 》　　実施 2023 年 5 月 30日

	環境管理者よりの報告内容・提案	代表者からの指示事項
環境経営システム有効性評価	取組状況の評価結果 ① 環境関連法規制遵守状況 2023年4月30日遵守状況確認 確認結果：遵守されている ② 是正処置・予防処置　(有)・無 1・産廃部門売上百万円当りの二酸化炭素排出量の中期目標の追加 2・両部門の基準年度を2021年度に統一 3・工事部門車両燃費向上中期目標追加 ③ 各部門取組状況 各部門計画通り	① 法規制の遵守を評価し、今後も確認を怠らないこと。 ② 各担当者に是正措置・予防措置の周知徹底をさせるため、毎月開催される各部署の会議にて各月の達成状況の報告と未達成の場合の是正事項を確認すること。 ③ 毎月開催される幹部会にて、各部門の責任者が取組状況を報告し、改善事項等があれば、各部門担当者に指示すること。
取組の適正の評価	目標・活動計画の達成状況 ・目標達成状況の報告 ①環境資源削減の紙使用削減未達成 (3%未満) ・活動計画の達成状況 概ね達成	売上増加に伴う産業廃棄物委託契約書、また解体工事注文書等が増加したため、紙使用量の増加は避けられないものとなった。 しかし、紙使用量についてはコピー用紙の無駄遣いを事務所内各人が再度、徹底する必要がある。また、工事事業部においては、クラウドを用いたデータサービスを試みているので、その中で電子契約も試みて、ペーパーレス化を推進すること。 その他の項目については目標を帆達成できたので、引き続き目標達成に向けて、努力してほしい。 引続き、計画達成に向けて努力すること。
外部環境変化への対応	法規制の改正対応および その他要求事項対応・他	① 静岡県盛土条例に基づき、再生砕石の販売において有害物質の定期測定等適切な対応ができてよかった。引き続き適切な対応をすること。 ② アスベスト対策に関する各法令の施行に基づき、対応を行ったが、期中にて見直しを行い、より良い対応のための仕組みづくりができた。引き続き、その仕組みが潤滑に運用されるように努力してほしい。

代表者による指示

・盛土やアスベスト対策において、法令等の変更に対する適切な仕組みづくりができ、初期運用の見直しもできたため、情報の収集と適切な対応を行うこと。今後は、その仕組みを潤滑に運用し、定期的にチェックをすること。
・SDGsの取り組みについて、具体的な内容を順次、検討していくこと。
・環境活動計画・実施体制は、本報告書のとおりに実施すること。

※ 代表者による全体の評価と定期的な見直しは毎年5月に実施する。

11. 地域貢献奉仕活動の記録

実施日及び作業内容
2023年4月10日　前面公道法面の草刈
2023年4月11日　前面公道の清掃

作業指示者　鈴木　伯幸

作業者
①加藤　尊広　②鈴木　拓也　③鈴木　雅之　④杉山　義文
⑤佐野　靖　⑥櫻井　竜弥　⑦須永　真樹

作業風景　＜除草後＞

＜道路清掃中＞

コメント

地域貢献奉仕作業として、毎年恒例の工場付近の公道の清掃作業と、工場前の公道(法面)の除草作業を行いパート社員小池氏が種をまき毎日水やりや草抜きの管理を花を育てくれました。花が咲くことで会社の前が明るい印象になったと思います。日曜日もかかさず水やりをしてくれたことに感謝してます。

12. グリーン購入推進

2023年1月に排ガスレベル平成28年制適合車に入替を行いました。

2023年3月に重機の入替
燃費の向上や二酸化炭素
排出量の削減にさらに期待できる。

運搬車の排出ガスレベル	台数	割合（%）
全保有台数	13	100%
①平成17年規制適合車	0	0%
②平成19年規制適合車	0	0%
③平成21年規制適合車	1	8%
④平成22年規制適合車	3	23%
⑤平成28年規制適合車	9	69%
	④+⑤	92%
目標　④+⑤適合車割合		95%以上

運搬車の燃費低減レベル	台数	割合（%）
全保有台数	13	100
①平成17年度燃費基準達成車	0	0
②平成22年度燃費基準達成車	0	0
③平成27年度燃費基準達成車	11	85%

目標　③適合車割合	90%以上